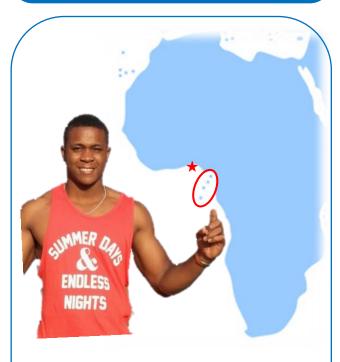
## 研修員's VOICE

Vol. 10

世界各国からJICA沖縄にやって来た 研修員を紹介しています。



氏 名: Mr. DO ESPIRITO SANTO FERREIRA

Fradique (フラディークさん)

国 名: サントメ・プリンシペ民主共和国

コース名: 島嶼水環境の保全と管理 コース

滞在期間: 2018年1月28日 - 2018年3月10日

## サントメ・プリンシへ。ってどんな国ですか?

西アフリカのギニア湾に浮かぶサントメ島、プリン シペ島及び周辺の島々からなる島嶼国で、ガボン 沿岸から約250km西に位置しています。面積約 1,000㎞(沖縄県の半分以下)、人口約20万人で、 人口の96%が首都のあるサントメ島に集中、15歳 以下の若い世代が人口の42%を占めています。

基幹産業は観光と農業で、輸出額の94%はカカ オです。旧ポルトガル領であったため言語や建物、 食文化にもポルトガルの影響が残っています。



サントメ島のシンボル"サントメ山"(2,024m



サントメ島の浄水処理施設

## 水環境の現状と課題は?

サントメ・プリンシペは降雨量も多く、50以上 の河川と豊富な地下水もあるのですが、水道 が普及していない地域が14%あります。下水 道の普及率も低く、家庭排水をそのまま河川 に流しているため、環境汚染も問題になって います。また老朽化した水道管からの漏水が 数多く発生し、せっかく処理した水が無駄にな り、収益が上がらないなど、組織の運用管理 も大きな課題です。

## どのような研修をしていますか?

水道・電力公社の水質検査技師として勤務し ていますが、幅広い視点から水環境の保全と 管理を学ぶため研修に参加しました。

日々の研修では水環境教育、漏水対策、赤 土流出対策、簡易水質調査、離島での浄水/下 水処理などを学んでいます。渡嘉敷島、宮古島、 石垣島では、離島がどのように課題を克服した かを学んだので、学んだことを同じ島嶼国であ る自国に活用していきたいと思います。



研修で訪れた渡嘉敷島の国立公園